

科目区分：自然科学

授業科目名	地球と宇宙の科学 (地球惑星科学入門)					学期	曜日	校時
英語名	Earth and Space Sciences (Introduction to Earth and Planetary Sciences)							
担当 教官名	武藤鉄司	単位数	2単位	必修 選択	選択	後期	火曜日	校時
授業のねらい・内容・方法								
惑星探査と地球科学のやさしい理解。地球生命を形造っている物質のルーツと地球型惑星の進化を探り、地球文明の現在と行く末を考える。ビデオを頻繁に上映する。								
テキスト、教材等								
参考図書 R・ミュレイン著/金子浩訳(1997)『宇宙飛行士が答えた 500 の質問』(三田出版)、松井孝典 (2002)『宇宙からみる生命と文明』(NHK 人間講座テキスト)。その他、プリントを適宜配布。								
対象学生	成績評価の方法					教官研究室		
全学部	期末試験の成績で判定する。再試は行わない。毎回出席・無遅刻が原則。遅刻は欠席として扱う。							
授業計画								
<p>第1回 太陽系起源論 (1) 始まりのはなし</p> <p>第2回 太陽系起源論 (2) 小質量星雲モデル</p> <p>第3回 太陽系起源論 (3) 京都モデル vs 松井・水谷モデル</p> <p>第4回 月の探査 (1) アポロ計画</p> <p>第5回 月の探査 (2) クレーター成因論</p> <p>第6回 月の探査 (3) 木星の月</p> <p>第7回 スペースシャトル (1) スペースシャトルとは何か</p> <p>第8回 スペースシャトル (2) 宇宙で学ぶニュートンの法則</p> <p>第9回 スペースシャトル (3) 宇宙で学ぶニュートンの法則</p> <p>第10回 地球システム (1) 放射平衡モデル</p> <p>第11回 地球システム (2) 暗い太陽のパラドクス</p> <p>第12回 地球システム (3) プレートテクトニクスと地球型惑星の進化</p> <p>第13回 地球外文明探査 (1) われわれは宇宙で孤独な存在か</p> <p>第14回 地球外文明探査 (2) 新しい人間論</p> <p>第15回 期末試験</p>								